

衆議院災害対策特別委員会ニュース

平成 29. 3. 16 第 193 回国会第 3 号

3 月 16 日（木）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 長坂内閣府大臣政務官から就任の挨拶が行われました。

2 災害対策に関する件

- ・松本国土大臣（防災担当・国土強靱化担当）、長坂内閣府大臣政務官、細田農林水産大臣政務官、藤井国土交通大臣政務官、根本国土交通大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

小 里 泰 弘君（自民）

- ・限られた人員で災害対応にあたる市町村の実情を踏まえ、災害発生時の国による支援の充実・強化を図るべきであると考えますが、政府の見解を伺いたい。
- ・ダム等の治水施設や河川を地域の観光資源として活用していくことは、地域の活性化につながると考えるが、活用に向けた具体策を伺いたい。

赤 羽 一 嘉君（公明）

- ・津波ハザードマップは、府県による津波災害警戒区域の指定の遅れ等のため整備が遅れている市町村もあり、国として府県や市町村に対し早期の整備を促すべきではないか。
- ・災害時における非常用電源の確保は重要な課題であり、点検体制等を含めた整備の必要性について、政府の見解を伺いたい。

神 山 洋 介君（民進）

- ・災害対策における事前防災、災害予防の分野は、重視・強化していく分野として捉えているのか。また、平成29年度の災害関係予算のうち災害予防に係る予算はどの程度の割合を占めているのか。
- ・災害発生が見込まれる際の予防措置に係る社会的・経済的コストの多くが地元負担となってしまう現状について、松本大臣の認識を伺いたい。
- ・「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」における検討状況及び議論の方向性、特に大規模地震対策特別措置法の見直しも視野に入れているのかについて伺いたい。

小 山 展 弘君（民進）

- ・海岸部の保安林の持つ飛砂・潮害防止の機能を堤防で代替することの可否及び保安林が枯死・荒廃した場合には保安林再生までとられる対応策について伺いたい。
- ・長坂政務官は、政治資金に係る問題が指摘されている現状に鑑み政務官を辞任する考えはないか。
- ・災害発生時における地下水の積極的利用について、松本大臣の見解を伺いたい。

堀 内 照 文君（共産）

- ・1月23日から的大雪による農業被害の状況及び支援の内容について伺いたい。また、被災地方公共団体から要望が出ている被災農業者向け経営体育成支援事業については、実施しないのか。
- ・災害援護資金の返済免除については、各市町村による個別の事情の判断を尊重すべきであると考えますが、政府の見解を伺いたい。
- ・退去期限が到来した阪神・淡路大震災に係る借上げ災害公営住宅の明渡し請求、提訴に対する政府の見解を伺いたい。

河 野 正 美君（維新）

- ・首都直下地震や南海トラフ地震等の大規模災害発生に備え、応急仮設住宅制度の抜本的な見直しが必要であると考えますが、松本大臣の見解を伺いたい。

伊 東 信 久君（維新）

- ・昨年の熊本地震及び北海道における一連の台風による橋梁の被災と復旧の状況を伺いたい。

3 津波対策の推進に関する法律の一部を改正する法律案起草の件

- ・秋葉委員長から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって起草案を成案とし、これを委員会提出の法律案とすることに決しました。
(賛成－自民、民進、公明、共産、維新)